

理系学部から公務員を目指す皆さんへ

衆議院事務局 技術系業務紹介



そこに世界で唯一の衆議院

皆さんは、国権の最高機関で働く技術系プロ集団がいることを知っていますか？

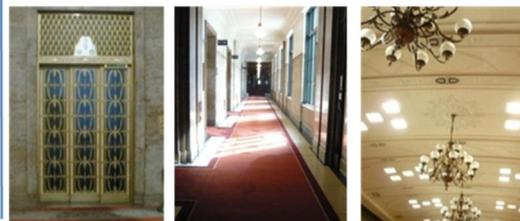
我が国の議会運営を円滑に進めるべく国会施設・設備を整備し、維持管理することが我々の大事な仕事です。国会議事堂は昭和11年生まれ、当時から現在に至るまで建物に確かな先端技術を盛り込む等、立法機能を支えてきました。政治の舞台に携わる私たちと一緒に取り組みませんか。

国を代表する存在で且つ、歴史的文化的価値のある国会議事堂に直接携わりたいと強く願う若者を募集します！

主な施設・設備の紹介

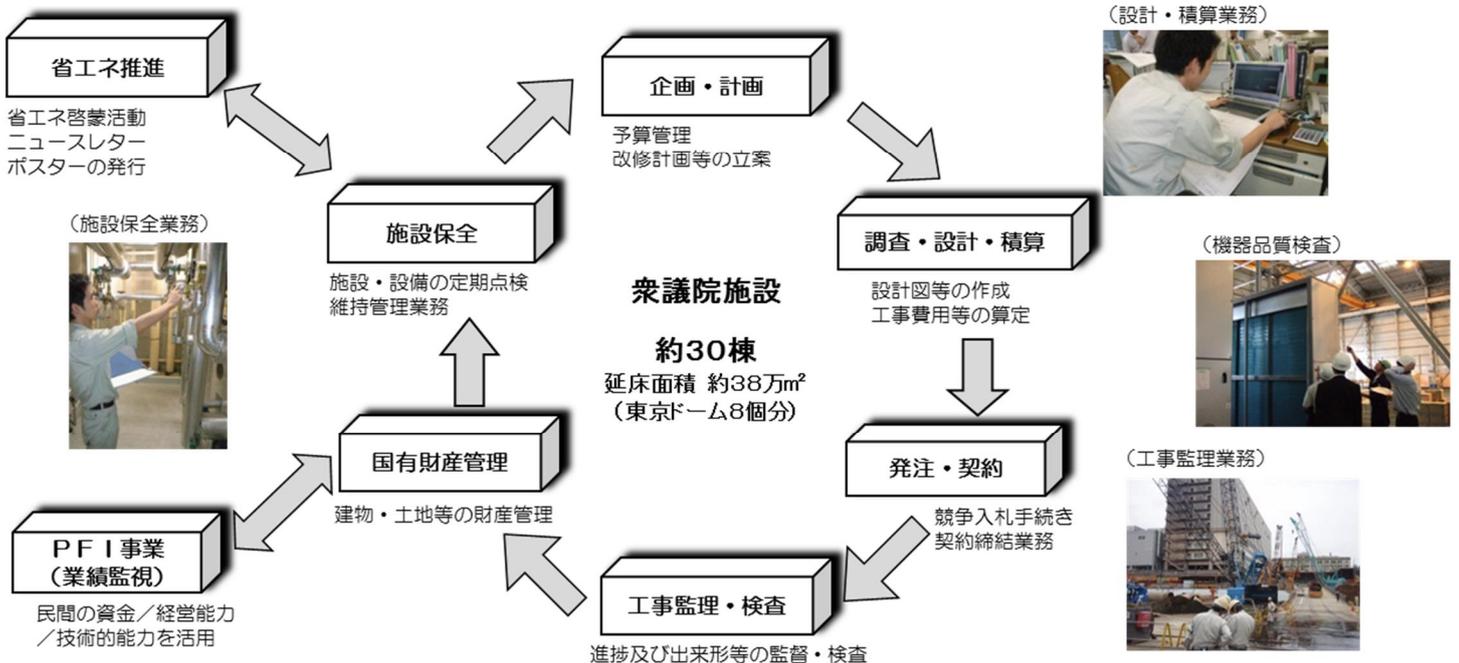


国会議事堂本館（昭和11年建設）



主な業務とその流れ

国会施設・設備の整備における企画から調査・設計、工事監理及び、その後の維持管理保全に至る一連の業務を一貫して担っています。



に携わるプロ集団がいる

ここでは技術系職員が活躍している営繕課と電気施設課の業務を紹介します！

営繕課 Message

議事堂を守り国会を支える

駒形 雄太



■□自己紹介■□■□■□■□

保育園に通い始めた娘の日々成長する姿に感動しています。育児は大変な事もありますが、子どもの楽しそうな笑顔には癒されます。時間があれば建築好きの仲間と建物探訪をしたり、妻とスポーツ観戦をしたりして楽しんでいます。

■□■□■□■□■□■□■□

営繕課には技術系職員が多数在籍しており、その領域は、意匠・構造を扱う建築と空調・衛生・昇降機を扱う機械設備に大別されます。いずれの分野においても、既存施設の修繕、改修を主体とした設計を行うほか、入札手続きから工事監理・検査までの一連の業務に携わります。完成後は、建築物及び附帯設備（エレベーター、空調、上下水道など）の点検や運転監視といった維持管理も行っています。これらの業務においては、電気施設課とも密接に関わり合いながら、建築・機械・電気が一体となり、施設整備を通じて円滑な議会運営を支えています。

衆議院には国会議事堂をはじめとした国会関連施設が 20 棟以上あります。これらの修繕や改修に当たっては、大半が自ら CAD を用いて設計図を作成し、発注仕様を決定しています。新たに建物を建設することはあまり多くありませんが、歴史的な建物には技巧を凝らした意匠や設えが数多く存在し、現代の建物ではほとんど見ることのない技術や工法に触れることができるのは、当院の特徴的なところだと思います。

特に国会議事堂は、当時の日本における技術の粋を集めて建設され、国内外にその高い技術力を示すものとなりました。それから 86 年にわたり、事務局職員たちの手で今日までその風格を保ってきました。これらの貴重な建物をしっかりと後世に引き継ぐことは我々の使命だと思っています。そのためには最新の技術や知見も同時に学ばなければなりませんし、何より先代からのノウハウを引き継いでくれる有望な人材を探さなければなりません。ぜひ皆さんにもその一翼を担っていただきたいと思っています。

電気施設課 Message

国会議事堂を支える技術

大谷 哲也



■□自己紹介■□■□■□■□

休日は子どもたちと外遊びや家族で買い物・旅行に出かけることが多いです。最近では長女が動物の名前をたくさん言えるようになってきたので、サファリパークに行って実物を見てきました。

■□■□■□■□■□■□■□

衆議院と聞くと、連日報道されている本会議や委員会の審議が想像されると思います。衆議院事務局は、衆議院を支えるため、会議運営、調査、記録、警務など様々な分野の職員が仕事を行っている機関です。

その中で私が所属しているのが電気施設課です。電気施設課では、国会議事堂をはじめとする建物の電気設備を利用する方々が安心して仕事ができるよう、設備の点検や保守を行い、必要に応じて老朽化した設備の改修や故障した設備の修繕などを行っています。

対象となる設備は照明やコンセント、電話、テレビなど、普段の生活で皆が使用している設備から、火災報知器や防犯設備などの建物を守る設備、珍しいところでは、本会議や委員会のテレビ中継を行うカメラや音響設備まで、数多くあります。

衆議院事務局の技術職を検討されている方の中には、電気設備について未経験であることを心配されている方もいるかもしれません。私も採用当初は電気設備の素人と言っても過言ではありませんでしたが、諸先輩の指導のもとで様々な業務をこなせるようになりました。まだまだ勉強することは沢山ありますので、これからも技術を向上させ、職務に励んでいきたいと思っています。

国会運営の日々を支える責任は重大ですが、とてもやりがい溢れる仕事であることは間違いありません。やる気・熱意・向上心に満ちた皆さんと、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。衆議院で、きっと大きな力を発揮する事ができるはずです。

Q & A

Q 衆議院事務局の技術系職員となるにはどうすればいいですか？

A 衆議院事務局の技術系職員は、国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）「デジタル・電気・電子」、「機械」、「建築」等の区分の合格者及び国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）「技術」区分の合格者からの採用実績があります。

官庁訪問等の詳細につきましては、衆議院事務局採用情報サイトをご覧ください。

衆議院事務局採用情報サイト

https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/statics/saiyo/index.html

Q 実際に説明を聞きたいのですが・・・

A 職務内容や採用試験に関する相談を随時行っています。先輩職員から直接話を聞くことや、国会議事堂等の衆議院の施設の見学もできます。ご希望の方は、下記問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

Q 勤務地について教えてください。

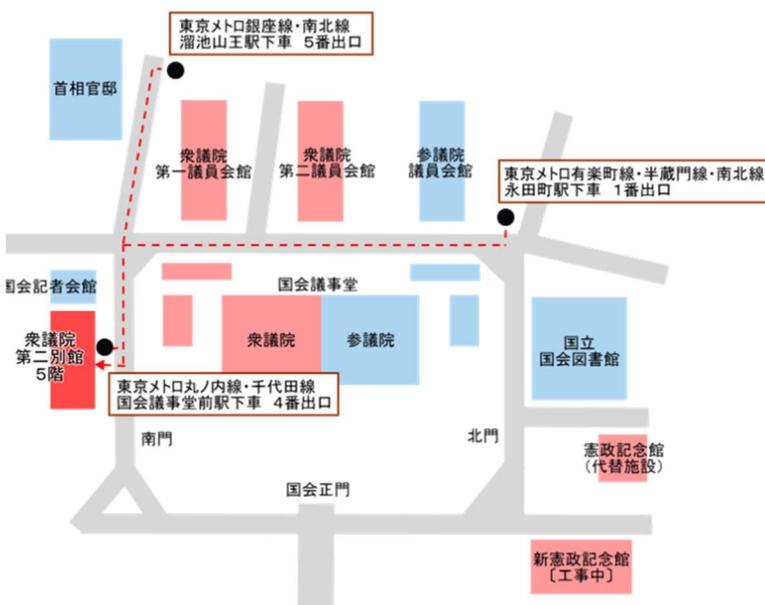
A 基本的に、国会議事堂内及びその周辺（分館、第一議員会館、第二議員会館、第一別館、第二別館等）になります。

Q 休日・休暇制度について教えてください。

A 年間20日の年次休暇があるほか、特別休暇（結婚・保育・看護・忌引・夏季等）、介護休暇、育児休業などがあります。

Q 給料・諸手当について教えてください。

A 給料は一般職の国家公務員の給料に準じた額となります。給料の他には6月期、12月期に期末・勤勉手当が支給されます。また、通勤手当、住居手当、超過勤務手当等がそれぞれ個人の状況に応じて限度額の範囲内で支給されます。



- 東京メトロ丸の内線・千代田線 国会議事堂前駅下車
（4番出口）徒歩1分
- 東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅下車
（5番出口）徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅下車
（1番出口）徒歩10分

【採用に関するお問い合わせ先】

ご質問やご不明点があれば、お気軽にお問合せください。

衆議院事務局庶務部人事課任用係

〒100-8960 東京都千代田区永田町 1-7-1

衆議院第二別館 5階

メール：jssaiyou@shugiin.jk.go.jp

<https://www.shugiin.go.jp>